

SDG RACING INFORMATION

アジアロードレース選手権 第3戦 栃木県モビリティリゾートもてぎ

【AP250・ASB1000 レースレポート】

6月13~14日（土曜日・日曜日）

天候：13日 晴れ時々曇り 14日 曇り コースコンディション：ともにドライ

2026年度アジアロードレース選手権（ARRC）第3戦が栃木県モビリティリゾートもてぎで開催された。

6月13日は全クラスの公式予選と決勝レース1が開催された。AP250はCarlsen Jacob Solis 選手（SDG HARC-PRO.Honda Philippines）と、SDGの社員ライダーである井吉亜衣稀選手（Team SDG with HARC-PRO.）が参戦。北関東にこの時期多発する雷雨はなく、絶好のコンディションとなった。井吉選手は予選10位、決勝レース1は7位。また井吉選手が4周目にマークした2分7秒785は、このレースのファステストラップとなった。Carlsen選手は予選27位、決勝レース1は19位でチェッカーを受けた。

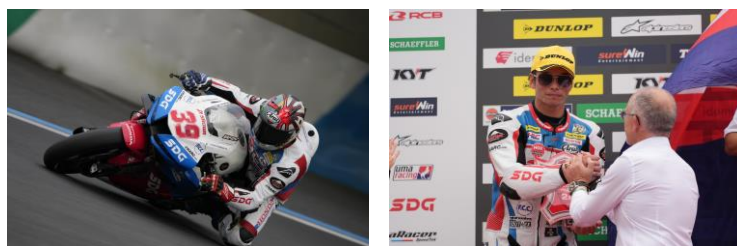
ASB1000の阿部恵斗選手（SDG HARC-PRO.Honda Philippines）は予選で3番手を獲得。決勝レース1では序盤、3番手につけていたが、4周目に2番手の選手がロングラップペナルティを受けて後退。阿部選手はトップを追いかけるが、その差は徐々に広まって2位でチェッカーを受けた。

6月14日は全クラスのウォームアップ走行と決勝レース2が行われた。AP250では井吉選手がレース序盤から積極的な走りを見せた。周回によってはトップと遜色ないタイムをマークするも、多くのマシンに囲まれ13位でチェッカーを受けた。Carlsen選手は徐々に順位を上げて23位でレースを終えた。

ASB1000の決勝レース2、阿部選手は4コーナーで2番手に浮上。6周目のS字で2位に浮上したものの、トップとの差はすでに3秒近くまで広がっていた。阿部選手の後方を走る選手とバトルを展開し、その座を守り切り2位でチェッカーを受けた。

次戦は8月8~9日、インドネシアのマングリカ・インターナショナル・サーキットで開催予定。

-ASB1000-



#39 SDG HARC-PRO. Honda Philippines

阿部恵斗

予選:3位

決勝レース1:2位 決勝レース2:2位

-AP250-



#25 SDG HARC-PRO. Honda Philippines

Carlsen Jacob Solis

予選:27位

決勝レース1:19位 決勝レース2:23位



#37 Team SDG with HARC-PRO.

井吉亜衣稀

予選:10位

決勝レース1:7位 決勝レース2:13位



SNS ACCOUNT  @SdgMSOfficial

 @sdgrider

 SDG Co., Ltd.

SDG